

# 河川漁場開発調査

## I 調査目的

笹内川と川内川におけるアユ魚場の調査をおこない、適正な漁場管理とアユ資源増強のための指針とする。

## II 調査内容

- (1) 調査期間 : 昭和44年5月～10月
- (2) 調査担当者 : 課長 長峰良典  
                  技師 青山禎夫  
                  "      橋爪政男
- (3) 調査地域 : 笹内川, 川内川
- (4) 調査項目
  - a 河川漁場調査
  - b 棲息アユの性状調査
  - c アユ資源量推定調査

## III 調査結果

### a 河川漁場調査

笹内川はアユの好漁場と思われるが、川内川は地理的にも自河川内でのアユの増産は能率が悪くむしろサケ、マス漁場としての好条件を備えている。

### b 棲息アユの性状調査

河川溯上は両河川とも5月上旬か盛期で産卵期も9月～10月とほぼ同じであるが、川内川のアユ笹内川のそれと較べて小型である。

### c アユ資源量推定調査

笹内川のアユ主要漁場は河口から約5.3 Kmまででその間の推定資源量は約50,000尾である。

川内川のそれは約10 Kmで約10,000尾である。

## IV 今後の課題と問題点

アユは一年魚であるため年による資源変動が大きく対象河川の将来計画には今後数年の継続調査が望まれる。